

令和6年7月1日14時00分
近畿地方整備局
豊岡河川国道事務所

かき なみ とうげ
国道9号笠波峠除雪拡幅 開通後の効果について
＜開通後の交通状況と整備効果＞

かき なみ とうげ
国道9号笠波峠除雪拡幅事業のうち、笠波トンネル(延長1744m)を含む延長2.4km
のバイパス区間が令和5年10月22日に開通しました。

この度、開通後の交通状況と整備効果をとりまとめましたので、お知らせします。

■開通による整備効果

①交通状況の変化

■交通量の転換

(開通前) 国道9号(現道) : 約4,830台/24h(平日)

(開通後) 国道9号(現道) : 約 540台/24h(平日)

今回開通区間 : 約4,210台/24h(平日) **約9割の交通が開通区間へ転換**

■走行速度の向上

(開通前) 国道9号(現道)* : 大型車の約20%が平均速度40km/h未満

(開通後) 今回開通区間 : 大型車の約 2% が平均速度40km/h未満 **約18%の改善**

※急勾配・急線形区間

②走行安定性の向上

■横揺れ・急制動の発生頻度改善

(開通前) 国道9号(現道) : 15.4回/100台(うち、横揺れ11.4回/100台)

(開通後) 今回開通区間 : 10.2回/100台(うち、横揺れ 1.3回/100台)

発生頻度が約2/3に低減(そのうち、横揺れは約1/10に低減)

引き続き、笠波峠除雪拡幅の整備を進めて参りますので、ご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

＜取 扱 い＞

＜配 布 場 所＞

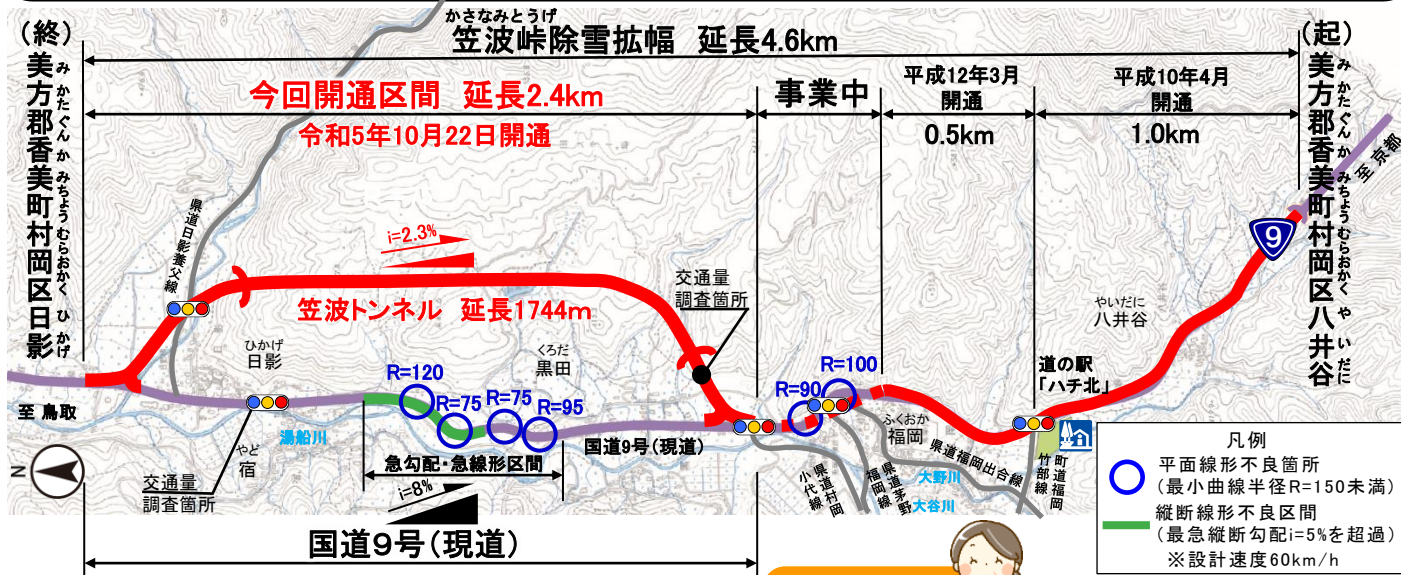
近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、
兵庫県政記者クラブ、但馬県民局記者クラブ、豊岡市政記者クラブ
養父市政記者クラブ、朝来市政記者クラブ

＜問 合 せ 先＞

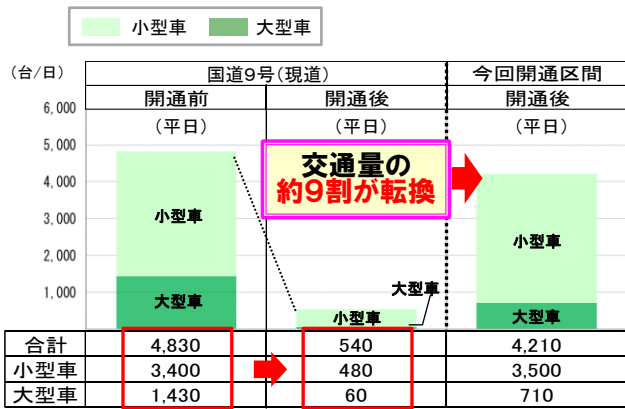
国土交通省 近畿地方整備局 豊岡河川国道事務所
副所長 浦本 康仁(うらもと やすひと)
計画課長 高木 敦史(たかき あつし)
TEL 0796-22-3126(代表)

整備効果① 交通状況の変化

- 国道9号(現道)は、急線形・急勾配箇所が連続し、走行車両の速度低下が生じており、特に積雪時の円滑な走行に課題がありました。
- 笠波トンネルを含むバイパス区間が開通し、**約9割の交通が開通区間に転換**、開通区間では**走行速度が40km/h以下の車両が大幅に減少**しました。
- 今後、降雪時の走行車両のスタック回避のほか交通事故の減少など、さらなる効果が期待されます。



交通量の転換(24時間交通量)



出典:【開通前】R3全国道路・街路交通情勢調査
 【開通半年後】モバイル Traffickounter 計測結果平均値 (R6.4.27~R6.5.26)

地域住民の声

- ・新道は走りやすく、スムーズな通行ができて助かっています。
 - ・開通後の国道9号(現道)は大型車の交通量が減少し、雨天日や積雪時に人や家に路面からの水しぶきがかかる心配がなくなりました。
- 豊岡河川国道事務所ヒアリング(R6年2月 香美町村岡区)

開通前の国道9号の状況

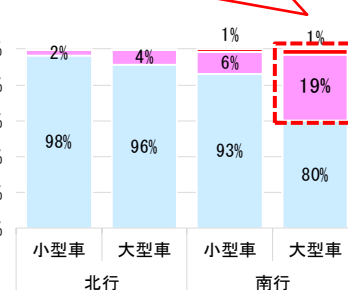


走行速度の向上

開通前(国道9号(現道))

【急勾配・急線形区間】

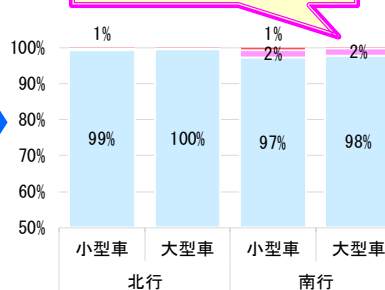
大型車の約2割が40km/h以下まで速度が低下



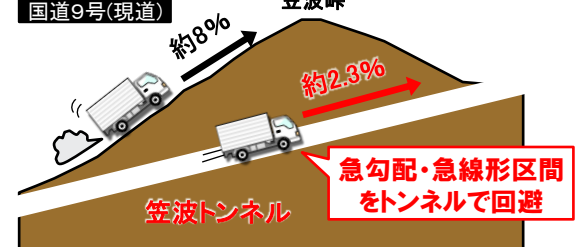
開通後(今回開通区間)

【全区間】

40km/h以下の割合が大幅に減少



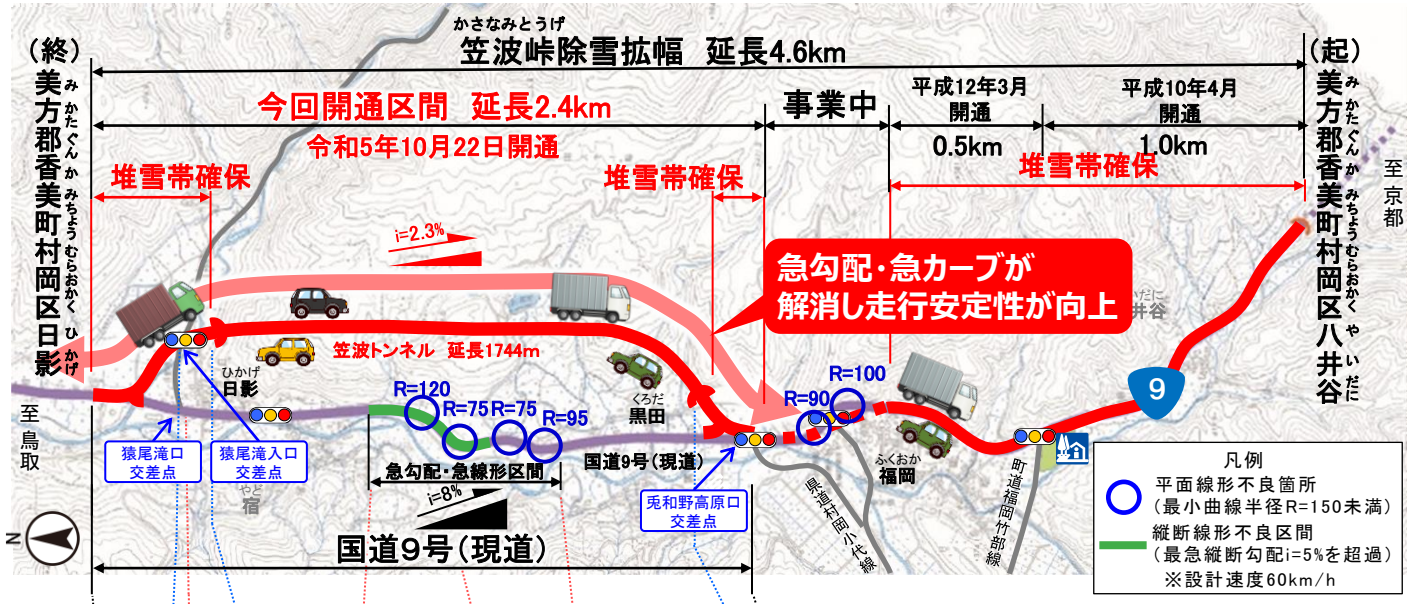
北行 南行



出典: ETC2.0プローブデータ
 開通前 R4.11~R5.2 全日24時間(全車・往復)
 開通後 R5.11~R6.2 全日24時間(全車・往復)

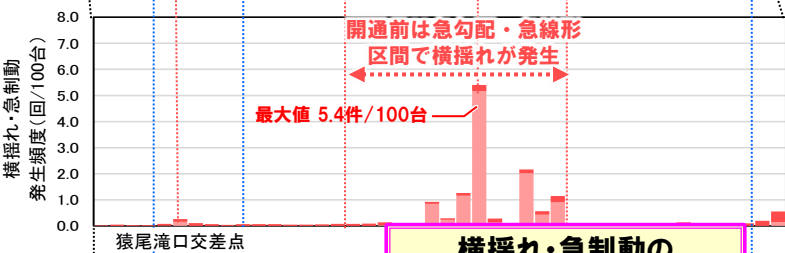
整備効果② 走行安定性の向上

- 笠波トンネルを含むバイパス区間の開通により、**横揺れ・急制動の発生頻度が約2/3に低減**、そのうち**横揺れは約1/10に低減**しました。
- 横揺れの低減による走行安定性の向上により、**救急搬送や物流事業者の安定した走行が可能**となりました。

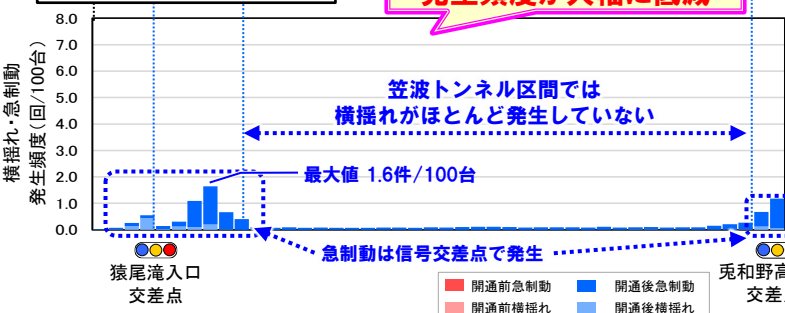


横揺れ・急制動の発生頻度改善

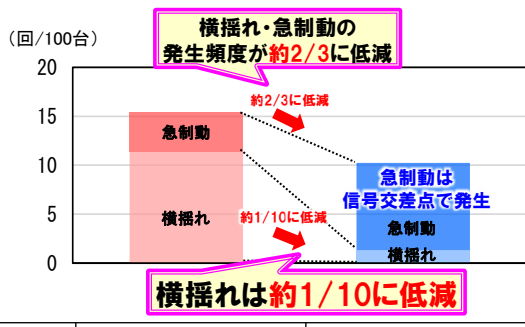
開通前(国道9号(現道))



開通後(今回開通区間)



●横揺れ・急制動の発生頻度比較



	開通前	開通後
	国道9号(現道)	今回開通区間
急制動	4.0	8.9
横揺れ	11.4	1.3
合計	15.4	10.2

出典：ETC2.0プローブデータ

開通前：R4.11～R5.2 全日24時間、開通後：R5.11～R6.2 全日24時間

※横揺れ・急制動発生回数：今回は、±0.25G以上の左右・前後加速度※iを対象に集計

※1：「物流Maasの今後の方向性(令和5年度物流Maas推進検討会)」の急ブレーキの定義より

※横揺れ・急制動発生頻度＝横揺れ・急制動発生回数/ETC2.0走行サンプル数

消防関係者の声

- ・急カーブ、急勾配の峠の走行は、救急患者及び運転手の大きな負担でした。
- ・笠波除雪峠拡幅の開通により、安定走行ができ、負担が軽減しました。



豊岡河川国道事務所ヒアリング調査(R6年2月 美方広域消防本部)

物流事業者の声

- ・急勾配で速度が出せず、他車に迷惑をかけてしまったり、急カーブでは荷崩れの心配もありました。
- ・笠波峠除雪拡幅の開通により、等速走行ができるようになり、走行しやすくなりました。



豊岡河川国道事務所ヒアリング調査(R6年2月 物流事業者)

笠波峠除雪拡幅の概要

笠波峠除雪拡幅事業は、国道9号の笠波峠付近の冬期の安全で円滑な交通の確保、地すべり区間の回避等を目的とする事業です。

令和5年10月22日(日)に、延長4.6kmのうち、美方郡香美町村岡区福岡から同町村岡区日影間の延長2.4kmが開通しました。

○開通概要

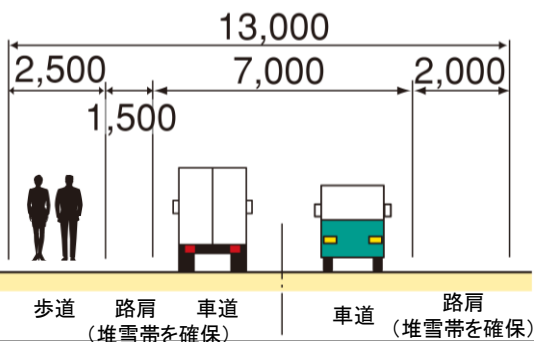
区間	(起)兵庫県美方郡香美町村岡区福岡 (終)兵庫県美方郡香美町村岡区日影
道路延長	2.4km
構造規格	第3種第2級
設計速度	60km/h
車線数	2車線
標準幅員	13.0m

○主な事業の経緯

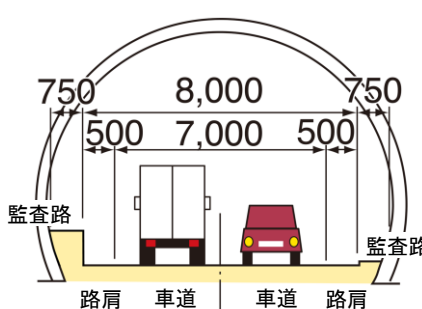
年度	事業実施項目
昭和62年度	事業化
昭和63年度	用地着手
平成5年度	工事着手
平成10年4月	村岡区八井谷～福岡間 1.0km開通
平成12年3月	村岡区福岡～福岡間 0.5km開通
令和5年10月	村岡区福岡～日影間 2.4km開通

○標準断面図

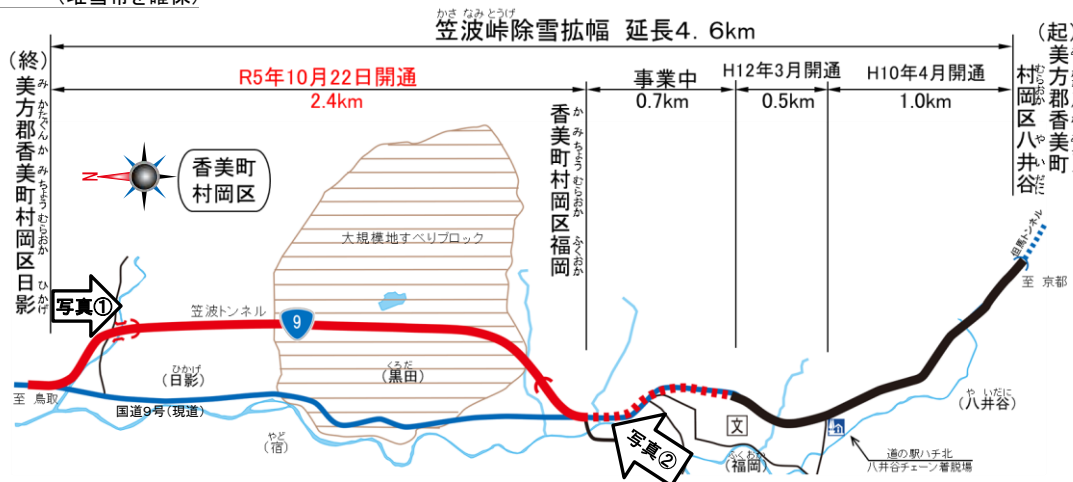
土工区間



トンネル区間



○位置図



写真①



写真②

